

「農村寄り添い事業体」 農水省若手チームが12月に提言

農林水産省「農村寄り添い事業体」に関する政策提言が、2025年12月25日発表されました。

この提言は、農林水産省内の若手有志の、「全ての農山漁村に消えない火を灯すプロジェクトチーム」(チーム2050)によるものです。

地域格差が拡大する農村地域に、課題解決の方策になるか、注目されます。

現状の施策では格差解消できない

農水省の若手職員の問題意識は明確です。人口減少・高齢化だけでなく、自治体職員

の減少も進み、現状の国の施策では農村の格差は解消できない。地域のビジョンを実現するプロセスに、関係者と連携して、実行まで支える存在として、

「農村寄り添い事業体」が必要だとしています。

4つのポイント

提言の主要ポイントは次の4点です。

- ① 地域の“内発的課題解決力”の強化
地域の人材・組織が主体的に活躍できる力をつけることが必要で、それが持続可能な農村振興には重要である。
- ② 外部主体との協働

の組み込み

地域内の人材だけでなく、外部の企業・民間組織等を“関係人口”として巻き込みながらの支援体制の構築。

③ 施策活用の伴走支援

地域ごとに状況が大きく異なるため、一律の施策実行だけではなく、活用過程を支える“伴走支援”の仕組みが必要。

この考え方が「寄り添い事業体」の考え方につながっている。

④ 制度への接続と政策の方向性

提言は単独の提案ではなく、農村RMO(農村型地域運営組織)等の既存制度や、「農山漁村振興交付金」などの活用を視野に入れつつ、多様な制度と、現場の実践をつなぐ方向性の提示を目的とする。

いわば、現場に寄り添い、丁寧に伴走しながら、施策活用につなげる組織・仕組みが必要だ、と述べています。

拡大する地域間格差への対応どうする

鶴岡市でも合併後、

急速に地域格差が拡大しました。移動手段としての交通インフラや、病院・診療所の縮小、銀行や農協の閉鎖、通学距離の増大などが要因としてあります。

朝日・温海地域に6日、「豪雪対策本部」設置



1月6日現在、朝日地域の積雪観測点である大網の積雪が158cm、温海地域の温海川の積雪が121cmとなり、同日午後1時に朝日・温海地域豪雪対策本部が設置されました。

「除雪計画書」

鶴岡市は、「令和7年度 市道等の除雪計画書」を12月3日公表しました。

除雪計画路線は、市道延長1528・9kmのうち、道路除雪317.5路線1139・2km、歩道除雪150路線106・0kmです。

道路用除雪機械は276台(うち市有車が136台)、歩道用除雪機械26台(うち市有車21台)です。

防雪柵の設置は、幹線道路などの96路線、延長23・31kmです。

道路消雪施設は、幹線道路39路線、延長15・4kmです。

凍結防止剤の散布は、幹線道路の登り坂や橋及び主要交差点等297箇所、延長38・91

藤島地域で学校が一つになれば、通学の不便な周辺部は格差拡大が強まるでしょう。周辺部に、伴走支援する「農村寄り添い事業体」ができるかどうか、課題です。

kmに散布します。公共施設は小・中学校等300箇所の駐車場の除雪作業を実施します。

除雪機械の出動基準は、路面に10cm以上の降雪がある場合、または午前7時まで10cm以上の降雪が予想される場合に出勤します。

降雪がない場合でも、道路の安全を確保するため、道路の状況に応じて剥ぎ取り・道路拡幅等を行います。

豪雪対策本部の設置基準は、本所の観測地点(鶴岡公園の観測地点)が70cmを超え、道路事情が悪化し引き続き降雪が多量に見込まれる場合が基準です。

朝日庁舎では、大網の観測地点の積雪が150cmを超え、温海庁舎では、温海川観測地点の積雪が150cmを超え、同様の場合を基準とします。

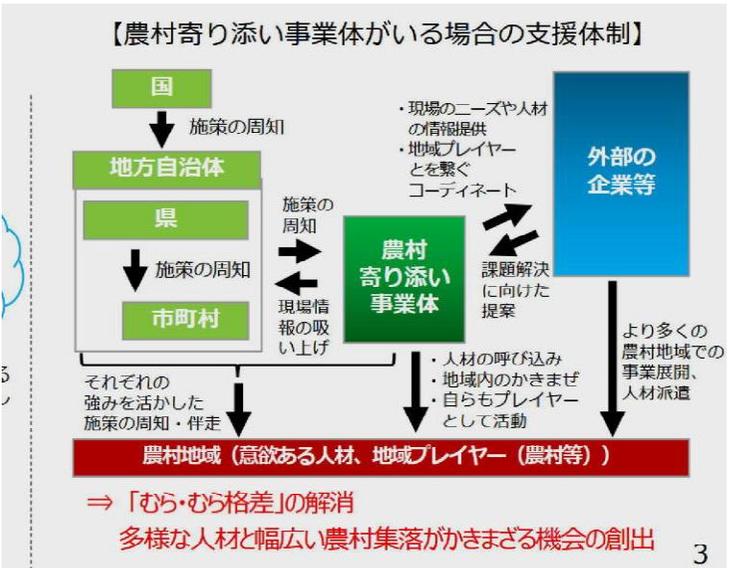
排雪場所は、
・本所(赤川三川橋上流右岸)

・藤島庁舎(藤島川藤浪橋上流左岸)

・羽黒庁舎(旧羽黒第一小学校用地(羽黒町手向地内))

・櫛引庁舎(赤川櫛引橋下流左岸)です。

農林水産省「農村寄り添い事業体」に関する政策提言2025年12月から



馬詩

馬の詩

城貞(藤の花)

憶昔紫駟有事耕
田疇收穫係農營
千年戰記將朋驥
言諺老駒不忘行

憶う昔 紫駟 耕を事とする有り
田疇の收穫 農營に係わる
千年の戦記 將 驥を朋とする
諺に言う老駒 行を忘れず



思いおこせば昔田畑を耕作するのに馬を使った。田畑で収穫した作物の運搬や営業に關与した。遠い戦国時代では、戦記を見ると兵を引き入る大将は名馬をなかまにしていた。またことわざに、山中で道に迷ったら老馬を放して後から従えば道に出ると。(経験を積んだ老人は物事の判断を誤らないというたとえ)。

馬は太古から人と親しい動物であり、力強い徳の象徴です。

とえ歩みののろい牛から足の速い馬に乗り換えること。

名馬、駿馬(しゅんめ)は、才能のある人物のイメージを呼びまします。

○馬の耳に念仏 いくら忠告や意見をしても、何の効き目もなくむだなことのとえ馬に仏の教えを聞かせても何も感じないことから。

馬の名のつく諺は随分とありますが、列挙してみました。

○尻馬に乗る 自分のはっきりした考えをもたずに、他人に同調して付き従うことのとえほかの人が乗っている馬の後ろに同乗することから。

○生き馬の目を抜く ずる賢いうえにすばしく油断も隙もないこと(生きた馬の目玉を抜き取るほど素早い事から)。

○竹馬の友 幼友達(幼い時竹馬に乗って一緒に遊んだ友ということ)。

○牛を馬に乗り換える 不利な方を止めて都合のいいすぐれているほうに換えることのとえ。

○人間万事塞翁が馬 塞翁の馬が逃げたがやがて駿馬を連れてきた。息子がその馬から落ちて足を折ったが、痛めた息子は戦いに行かれず死を免れる。(世の中

○天高く馬肥ゆる さわやかでしのぎやすい秋の好時節を表す言葉(空も澄んで高くはれて馬糧の草も実るので馬が肥えてたくましくなると言う意)。

の幸不幸はわからないものだという故事)。

○馬脚を露す 隠していた本性や悪事がばれてしまうこと(芝居で馬の脚を演じる役者が、うっかりその姿を露出させてしまうの意)。

きびちよ

暮らしてどうなる

新しい年を迎えます。おめでとうございます。皆さまには、健康やかに新年をお迎えの事とお喜び申し上げます。昨年「きびちよ」をご愛読いただきありがとうございました。

▲今年(ひんえま)は丙午に当たる年だそう。丙午というとは何かといわれがあるようですが、個人的には、暦が還って2回目の年男になります。特別な事もなく新しい年に入り、幸せを感じておりますが、今年はどうなるか。午年だからウマクいく年であって欲しいんです。

金の使い方2つ3つ拾ってみると、指摘されているのが防衛費と称する戦争準備費の大幅な増額です。

▲中国・北朝鮮の動きに国民感情を煽り、米大統領を喜ばせるものです。それは、台湾有事に自衛隊が出勤すると言った自相矛盾に、マスコミの反発が無かつた事も影響しているとみているんだが。

新しい獅子頭作りの追求



元東栄小教諭・吉野文夫

東栄小獅子踊りものがたり①

常により良い物を作るといふことは、人間の求めるものです。シリカさんに、もっと軽いものは出来ないかと思っていたところ、子どもたちの台湾行きが決まったことにより加速され、以前の作品を改良し、大変軽くすることができ、6月に納品され使用されたそうです。

退職後、飛騨高山に旅行途中、和紙会館にて新たな面づくりの方法に出合うことができました。求

める面の型を造り、和紙を流し込み、圧縮し乾燥させ、その表面に着色していく方法です。

有形の物はいつかくずれます。修理や創作も大事な教育の一面です。今の学校は忙しすぎます。子どもたちにとって時間的余裕があれば、5人一組になって創造的に衣装を造ったり、修理することが理想の教育であり、東栄の獅子踊りになるのですが。(つづく)

憶 心にとめる。

紫駟 黒いたてがみの赤馬。

耕 田や畑を耕す。

田疇 田畑。

係 関与する。

農營 農家の営業。

千年 昔。

戦記 戦いの記録。

將 兵を率いる人。

朋 なかま。

驥 一日に千里走ると言われている馬。

諺 昔から言い伝えられた教訓的な言葉。口調のいい短いのが多い。「急がば廻れ」等。

老駒 長生きの馬。

行 道路。

▲来年度の国の予算が示されましたね。それを見て国は来年度どんなことをやろうとしているのか、見てみると。

▲物価高で暮らしが大変だ。の声に金券を配ると言うが、今いま苦しいのに来年度になつていつ届くのか。今の事だから消費税の引き下げが直ぐ効くのに。

▲金券配りは、高血圧の人が薬を飲むようなもので、塩分接種を控えるというものではない。物価高原因の元はドル高円安でしょ。円高に動く事を予想した日銀の利率引き上げ発表にも、円はそのまま。円高に動かないことには。(石川)